

第23号書式（第29条）

阪航工契 257 号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 福岡空港場外用地管理フェンス等設置工事

開 札 年 月 日 令和2年11月18日 （落札決定日 令和2年12月7日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 17,600,000 -

落 札 者 宮川建設株式会社

予 定 価 格 ￥ 20,350,320 -

積 算 額 ￥ 20,350,320 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 18,500,291 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 17,904,349 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 16,276,681 -

基 準 評 価 値 540.532

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点120点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
宮川建設株式会社	109.0	16,000,000	681.250	○				落札
株式会社海山組	-	辞退	-	-				
株式会社国本工業	-	辞退	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和2年12月7日に落札者を決定した。

項目	内容
1. その価格により入札した理由	工事施工にあたり、長年取引関係のあるそれぞれの業者から積算する際に徴取した見積書の金額を積み上げて、施工可能な金額と判断し、また当事務所から該当施工箇所まで、5.2kmと近いことから施工時の資材置場等の削減ができ現場管理費等の低減が可能であり、共通仮設費等の経費についても、工程管理を徹底的に行って無駄のない資材・機械を確保することで、低減が可能となります。以上を踏まえ、施工難易度等を考慮した結果、どうしても受注したいと考え、当該金額での応札となりました。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	手持ち工事は2件あるが、配置を予定している現場代理人兼監理技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無しであり、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	手持ち工事は0件で、配置を予定している現場代理人兼監理技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無しであり、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所である福岡空港の場外用地は、調査対象者の事務所から5.2kmに位置するため、資機材運搬や管理面において経費の節減が可能であり、また緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
5. 手持資材の状況	本工事に必要な資材については、現在は相手方の手持にないが、契約後には購入予定先から遅滞なく調達できることをヒアリングにより確認できた。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	長年にわたり取引がある業者から、資材調達することにより廉価で購入することが可能であることをヒアリングにより確認できた。
7. 手持機械数の状況	当該工事で使用する建設重機類は、長年にわたり取引がある再委託予定先で確保できることをヒアリングにより確認できた。
8. 労務者の具体的供給見通し	本工事に係る従業員は協力会社から確保することとしており、その際には、職種ごとに労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①中央ふ頭地区岸壁付属工事(福岡市) ②緊急時用連絡管布設工事(福岡地区水道事業団) ③室見川河川災害復旧工事(福岡県) を含む、国12件(国土交通省)、地方公共団体24件(福岡県 9件・福岡市 15件)、特殊会社等2件(水道企業団 2件)の計38件の施工実績が過去5年間にある。
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成27～令和元年度において、土木工事として、国12件(国土交通省)、地方公共団体24件(福岡県 9件・福岡市 15件)、特殊会社等2件(水道企業団 2件)の計38件の施工実績があり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が確認されず、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることが確認できた。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	